出願期間・入学試験日程

【注意】新型コロナウイルス感染症の状況により実施内容に変更が生じる場合はWebサイトに随時掲載いたします。

募集課程	試験区分	実施期	出願期間	試験日	合格者発表日
修士課程 2年制	スポーツ科学部生特別入学試験	6月期	2020年5月5日(火)～5月11日(月)	2020年6月6日(土)	2020年6月12日(金)
		10月期	2020年8月25日(火)～8月31日(月)	2020年10月17日(土)	2020年10月23日(金)
		1月期	2020年12月1日(火)～12月7日(月)	2021年1月23日(土)	2020年1月29日(金)
	一般入学試験(社会人・外国学生を含む)	秋期	2020年8月25日(火)～8月31日(月)	2020年10月17日(土)	2020年10月23日(金)
		春期	2020年12月1日(火)～12月7日(月)	2021年1月23日(土)	2021年1月29日(金)
修士課程 1年制	一般／社会人 入学試験	秋期	2020年8月25日(火)～8月31日(月)	2020年10月17日(土)	2020年10月23日(金)
		春期	2020年12月14日(月)～2021年1月6日(水)	2021年1月23日(土)	2021年1月29日(金)
博士後期課程	推薦入学試験		2020年8月25日(火)～8月31日(月)	2020年10月17日(土)	2020年10月23日(金)
	一般入学試験(社会人・外国学生を含む)	秋期			
		春期	2020年12月1日(火)～12月7日(月)	2021年1月23日(土)	2021年1月29日(金)
		9月入学	2021年5月4日(火)～5月10日(月)	2021年6月5日(土)	2021年6月11日(金)
科目等履修生			2021年1月29日(金)～2月5日(金)	2021年3月6日(土)	2021年3月8日(月)

※出願前に研究指導を希望する教員とコンタクトをとることをおすすめしています。また、一部の入試では英語のスコアが必要です。詳細は「入学試験要項」をご確認ください。※国外出願は締切日必着ですので、ご注意ください。
※英語による研究指導および修士・博士学位取得も可能です。詳細はスポーツ科学研究科Webサイトにて入試要項をご確認ください。(一部の研究指導を除く)

入学金・学費(2020年度入学者1年次 ※ご参考)

(単位:円)

課程	納入期	入学金	学費		諸会費			合計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	学会入会金	学会会費	
修士課程 2年制	入学時	200,000	463,000	35,000	1,500	2,000	2,500	704,000
	秋学期	—	463,000	35,000	1,500	—	2,500	502,000
	計	200,000	926,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,206,000
修士課程 1年制	入学時	200,000	619,000	35,000	1,500	2,000	2,500	860,000
	秋学期	—	619,000	35,000	1,500	—	2,500	658,000
	計	200,000	1,238,000	70,000	3,000	2,000	5,000	1,518,000
博士後期課程	入学時	200,000	338,500	35,000	1,500	2,000	2,500	579,500
	秋学期	—	338,500	35,000	1,500	—	2,500	377,500
	計	200,000	677,000	70,000	3,000	2,000	5,000	957,000
博士後期課程(9月入学)	入学時	200,000	338,500	35,000	1,500	2,000	2,500	579,500
	春学期	—	338,500	35,000	1,500	—	2,500	377,500
	計	200,000	677,000	70,000	3,000	2,000	5,000	957,000

※2021年度の学費・諸会費は改定されることがあります。
※当学の学部、大学院、専攻科の在学生、卒業生、修了生、または退学者が入学する場合、入学金が免除されます。

学内奨学金

名称	詳細	支給額(年額)
大隈記念奨学金【給付】	成績上位者から研究科で選考(奨学金登録は不要)	400,000円
小野梓記念奨学金【給付】	経済的に修学困難な学生を援助	400,000円
校友会給付奨学金【給付】	早稲田大学校友会の寄付からなる奨学金で、家計困窮度ならびに学業成績を総合的に勘案し採用	400,000円
大学院博士後期課程若手研究者養成奨学金【給付】	2009年度以降の入学者で、標準修業年限内に在籍し、奨学金を受ける年度の4月1日時点で満30歳未満の者。(詳細は当年度5月以降に配布する募集要項を必ず確認してください。)	400,000円～600,000円

学外奨学金

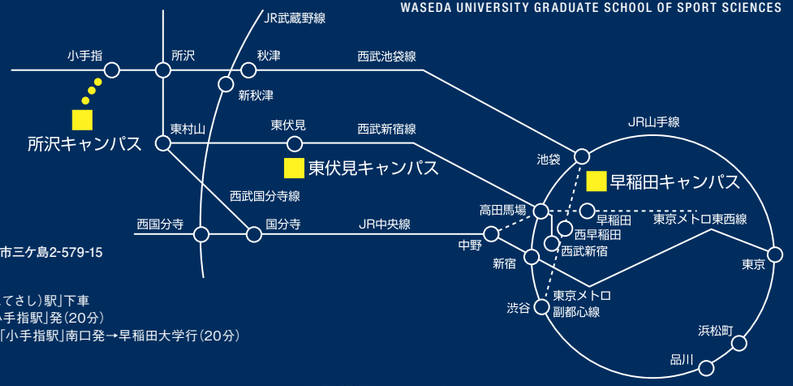
名称		支給額(月額)
日本人学生向け	日本学生支援機構奨学金「第一種」【貸与】無利子	修士50,000・88,000円 博士80,000・122,000円から選択
	日本学生支援機構奨学金「第二種」【貸与】有利子	50,000 ～ 150,000円から選択
外国人留学生向け	私費外国人留学生学習奨励費【給付】	48,000円(月額)

これまでの主な就職先 ※過去3年間の実績

アシックス、アビームコンサルティング、ゴールドウイン、ドーム、東芝、東京ドーム、凸版印刷、日本ユニシス、博報堂スポーツマーケティング、東日本旅客鉄道、本田技研工業、ミズノ、みずほフィナンシャルグループ、三井物産、楽天野球団、ヨネックス、ワコール、日本オリンピック委員会、日本スポーツ振興センター、日本プロサッカーリーグ、日本バレーボールリーグ機構、日本理学療法士協会、国家公務員、東京都職員I類、市区町村職員、中学校・高校教員、大学教員　など

ACCESS
アクセス

WASEDA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF SPORT SCIENCES



所沢キャンパス
〒359-1192 埼玉県所沢市三ケ島2-579-15
TEL 04-2947-6855

西武池袋線:「小手指(こてさし)駅」下車
スクールバス(無料):「小手指駅」発(20分)
または西武バス(有料):「小手指駅」南口発→早稲田大学行(20分)

東伏見キャンパス
〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-4-1

西武新宿線:「東伏見駅」南口徒歩1分

早稲田キャンパス
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1

JR山手線:「高田馬場駅」徒歩20分
西武新宿線:「高田馬場駅」徒歩20分
東京メトロ東西線:「早稲田駅」徒歩5分

早稲田大学　スポーツ科学学術院
スポーツ科学部／大学院スポーツ科学研究科／スポーツ科学研究センター
https://www.waseda.jp/fsps/gsps/　お問い合わせは左記のWebサイトよりご確認ください。

表紙・P1・P3 写真提供:早稲田スポーツ新聞会

SPS スポーツ科学研究科 Graduate School of Sport Sciences

Waseda University Graduate School of Sport Sciences

早稲田大学
スポーツ科学研究科

GUIDE BOOK 2021

修士課程2年制／博士後期課程
修士課程1年制

GRADUATE SCHOOL OF

SPORT SCIENCES

WASEDA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF SPORT SCIENCES

修士課程２年制・博士後期課程

- スポーツ文化研究領域 Sport Culture research area
- スポーツビジネス研究領域 Sport Business research area
- スポーツ医科学研究領域 Sports Medicine research area
- 身体運動科学研究領域 Exercise Science research area
- コーチング科学研究領域 Coaching research area
- Health and Exercise Science※
- Sport Management※

▶ **主に所沢キャンパスで開講** Mainly offered in Tokorozawa Campus

※修士課程2年制のみの英語学位プログラム

スーパーグローバル大学創成支援健康スポーツ科学拠点として、教育研究に取り組んでいます。

修士課程１年制

- トップスポーツマネジメントコース Top Sports Management Course
- スポーツクラブマネジメントコース Sports Club Management Course
- 健康スポーツマネジメントコース Health and Sports Management Course
- 介護予防マネジメントコース Preventive Care Management Course
- スポーツジャーナリズムコース Sports Journalism Course

▶ **社会人向け** For mature students
▶ **主に早稲田キャンパスで開講** Mainly offered in Waseda Campus
▶ **主に平日の夜間および土曜日に開講** Mainly offered on weekday evenings and Saturdays

- エリートコーチングコース Elite Sports Coaching Course

▶ **学生および社会人向け** For students and mature students
▶ **主に所沢キャンパスで開講** Mainly offered in Tokorozawa Campus
▶ **主に昼間に開講** Mainly during the daytime

幅広いスポーツ科学の プロフェッショナルを育む

人間の日常生活活動において、スポーツは深く浸透し、私たちの生活に多くの影響を与えています。スポーツに関わるさまざまな課題を対象として、研究と教育を総合的に実施するために設置されたのが早稲田大学大学院スポーツ科学研究科です。本研究科では、スポーツ科学に期待される社会的要請の高まりに対応し、スポーツ関連の幅広い事業分野で専門職者として活躍する人材を育成することをめざしています。育成する人材像は、以下の通りです。

1. スポーツ医科学の専門知識を身につけた研究者および高度職業人
2. スポーツ文化の発展に貢献することのできる研究者および高度職業人
3. スポーツビジネス実務者への高度専門教育を通じてのスポーツ界をリードする高度職業人

以上の学術研究者および高度職業人を育成するために、本研究科では、スポーツ文化、スポーツビジネス、スポーツ医科学、身体運動科学、コーチング科学の5つの研究領域を設けて、各々の研究成果を教育還元します。さらに、実務経験者を対象とする修士課程（1年制）を設置し、スポーツマネジメント分野等の実務者教育を行っています。大学院学生は、所属する研究指導の演習に専念するほか、さまざまな分野の講義・演習を履修することによって、スポーツ科学に関わる最高度の研究成果を修得することができます。これらの学生が社会へ羽ばたき、スポーツに関わる多彩な分野で活躍することを通じて、「豊かなスポーツ文化の創造」に資することが、本研究科の理念です。

INTERVIEW

アスリートが美味しくご飯を食べるには ～食欲の調節方法を探る～

研究紹介　スポーツを行う為の最適な栄養管理やコンディショニングを探究したいと考え、博士後期課程に進学しました。現在は、人間の胃の動きに着目して、「お腹が膨らむ」ということが食欲の調節にどのような影響を及ぼしているのかを研究しています。具体的には、身体活動や水を飲むということが胃の運動に与える影響を超音波診断装置を用いて測定し、胃の運動が食欲へ及ぼす影響を検討しています。研究を通してアスリートや食欲不振に悩む人が適切な量の食事を摂取できる方法を確立したいと考えています。研究室では国内外の学会やシンポジウムで研究を発表する機会も多く設けられています。学会発表や海外の研究者との交流から、国際的に研究を発信していく姿勢を学んでいます。

研究科の魅力　スポーツ科学研究科では、奨学金の制度が充実しており、私はスポーツ科学研究科の学生に対する海外派遣プログラムで、2018年11月から2019年2月まで、イギリスのラフバラ大学に留学していました。海外の研究者達と日々議論を交わし、研究内容を発展することができた経験は、今後の研究活動の大きな財産となりました。スポーツ科学研究科では海外の学会における発表や短期留学への支援が豊富にあり、国際的な視点を持って研究を行えることが大きな魅力だと感じています。

藤平 杏子さん　スポーツ科学研究科 博士 3年
東京学芸大学 教育学部出身

よく見て、よく話し、よく動いて、良く学ぶ 指導現場の実践を研究に

研究紹介　私は、体操競技の技について動作解析を行い、現場の指導に役立てるための研究を行っています。体操競技では、日常生活で見られないような運動が行われます。こういった不可解な運動を選手に身につけさせるにはどうすべきかが研究のテーマです。技は、その複雑さゆえに実施している選手でさえ、どんな運動であったかを説明できないことがあります。指導者だけでなく、選手のためにも技の構造を明らかにする研究が行われる必要があります。私の所属する研究室には、全く異なる競技のコーチが在籍しています。私達はスポーツコーチングという共通のテーマをもとに、最善の指導の実現に向けて意見を交換し合いながら日々研究に取り組んでいます。

研究科の魅力　スポーツ科学研究科には、様々な専門分野の先生がいらっしゃるので、自分の研究したい内容によって、研究室を選ぶことができます。コーチング科学研究領域では、複数の研究室が集まって意見を交換できる場があり、異なる専門種目の先生から意見をいただけることも魅力的です。そして、早稲田大学には体育各部が活躍している現場が身近にあります。現場が身近にあるので、現場を良くしたい、研究をもっと深めたいというモチベーションとなっています。

浅野 佑樹さん　スポーツ科学研究科 博士 1年
早稲田大学 スポーツ科学部出身

本ガイドブックに登場する人物の学年、所属、職位などは、特に注記がない限り2019年度取材当時のものです。

WASEDA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF SPORT SCIENCES

修士課程・博士後期課程

博士欄の「○」は日本語での、「◎」は日本語・英語での、「●」は英語のみでの研究指導を担当する教員を示します。「×」は募集しないを示します。「ー」は担当なしを示します。

修士課程２年制・博士後期課程

スポーツ医科学 研究領域

SPORTS MEDICINE RESEARCH AREA

スポーツをメディカルな視点から研究する

本研究領域では、スポーツ外傷・障害、健康医学、障がい者スポーツ、アスレティックトレーニングに関連した医科学研究を推進すると同時に、研究に関連した知識と研究遂行能力を身につけます。スポーツ医科学におけるトップクラスの実践の場をフィールドとして、スポーツ医科学における研究活動を進めます。行政担当者、スポーツ関連企業のスタッフ、高度な研究能力と豊かな学識を有した研究教育者、および実践の場における高度な知識を有した指導者の養成を目的とします。国内外のスポーツ医科学研究機関との連携をはかりながら国際的研究の場での活動が身につくよう配慮します。また、研究者、教員、行政関係者、健康増進施設関係者、健康増進関連企業など、スポーツ医科学の知識と技術が要求される専門的分野での活躍が期待されます。

研究指導名	資格	担当教員名	修士	博士
運動免疫学	教授	赤間 高雄	○	◎
スポーツ健康管理学	教授	坂本 静男	×	×
運動器スポーツ医学	教授	鳥居 俊	○	○
健康行動科学	教授	岡 浩一朗	○	◎
スポーツ整形外科学	教授	金岡 恒治	○	◎
予防医学	教授	鈴木 克彦	○	◎
アスレティックトレーニング	教授	広瀬 統一	○	◎
筋生物学	教授	秋本 崇之	○	◎
運動代謝学	准教授	宮下 政司	○	◎
運動器スポーツ機能解剖学	教授	熊井 司	○	◎
健康教育学	准教授	石井 香織	○	◎
スポーツ神経精神医科学	准教授	西多 昌規	○	ー
スポーツ疫学	教授	澤田 亨	○	◎
アスレティックパフォーマンス	准教授	平山 邦明	○	ー
環境運動生理学	講師	細川 由梨	○	ー

修士課程２年制・博士後期課程

スポーツ文化 研究領域

SPORT CULTURE RESEARCH AREA

「体育学」をこえて新領域の「学」に挑む

スポーツは、現代社会の精神文化、技術文化のそれぞれに属する諸要素が有機的に連関し合ってなる体系と理解されています。本研究領域では、そこに生じる問題を社会学、教育学、倫理学、文化人類学、歴史学、哲学等の方法によって理解し、その解決に貢献することをめざします。そこでは、スポーツの在り方にかかわる基礎的問題から、スポーツメディア、スポーツ教育、スポーツ倫理、ジェンダー、舞踊、武道、観光化、民族スポーツなど日常の社会生活に表れる応用的問題までが扱われます。スポーツを社会・文化的事象として対象化し、これを人文・社会科学的に研究し得る人材の養成、並びに高度かつ広範な専門的知識を身につけた職業人の養成をめざします。また、研究者、教員、スポーツ関連業界など一般産業界での幅広い活躍が期待されます。

研究指導名	資格	担当教員名	修士	博士
スポーツ倫理学・教育学	教授	友添 秀則	○	◎
スポーツメディア論	教授	トンプソン リー A.	○	◎
スポーツ史	教授	石井 昌幸	○	ー
舞踊論	教授	杉山 千鶴	○	ー
体育科教育学	准教授	吉永 武史	○	ー
スポーツ教授学	准教授	深見 英一郎	○	○
スポーツ社会学	准教授	中澤 篤史	○	○
スポーツ文化論	教授	川島 浩平	○	◎
Sport and Social Theory	教授	ホーン ジョン D.	ー	●

修士課程２年制・博士後期課程

スポーツビジネス 研究領域

SPORT BUSINESS RESEARCH AREA

スポーツを先進「経営」としてとらえる

本研究領域では、プロスポーツやフィットネスクラブに代表される民間営利スポーツから、政府や学校のような公共の非営利スポーツまでの幅広いスポーツビジネス分野を対象としています。スポーツビジネス現象のしくみについての理解を進めるとともに、スポーツビジネスの世界で生起する経営課題に対する解決方法を、働く個人やスポーツの参加者といったミクロ的視点から、制度や政策に関連するマクロ的視点にまで幅広く、学際的な方法を用いて究明します。そして、スポーツに関する基礎学問的な理解の上に、スポーツビジネスに関する高度な知識と技能を有した職業人および研究者の育成をめざします。また、スポーツ組織の経営力を高めるゼネラルマネージャーなどスポーツビジネスの世界での活躍が期待されます。

研究指導名	資格	担当教員名	修士	博士
スポーツ経営学	教授	木村 和彦	○	ー
健康スポーツ論	教授	中村 好男	○	○
スポーツビジネスマネジメント論	教授	原田 宗彦	○	◎
スポーツクラブビジネス論	教授	間野 義之	○	○
トップスポーツビジネス論	教授	平田 竹男	○	○
スポーツ組織論	教授	作野 誠一	○	◎
スポーツビジネス・アドミニストレーション	教授	武藤 泰明	○	◎
スポーツビジネスマーケティング	教授	松岡 宏高	○	◎
スポーツビジネス法	准教授	松本 泰介	○	ー

修士課程２年制・博士後期課程

身体運動科学 研究領域

EXERCISE SCIENCE RESEARCH AREA

ヒトの可能性を運動能力の視点から追究する

本研究領域では、健康増進やスポーツパフォーマンスの向上につながる研究を基礎科学的見地から進めます。スポーツの自然科学的側面に関する高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を有した研究者およびそれらに関連する高度専門職業人、スポーツ科学や体育学に関する高度な知識と技能を備えた教員、スポーツ指導者、行政担当者、スポーツ関連企業のスタッフなどの養成を目的とします。他の研究機関との連携も密にし、研究・教育の充実を図ります。

研究指導名	資格	担当教員名	修士	博士
スポーツ神経科学	教授	彼末 一之	×	×
生体ダイナミクス	教授	川上 泰雄	○	◎
スポーツ生理学	教授	村岡 功	×	×
スポーツ心理学	教授	正木 宏明	○	◎
スポーツ情報処理	教授	誉田 雅彰	×	×
統合運動神経生理学	教授	宝田 雄大	○	◎
バイオメカニクス	教授	矢内 利政	○	◎
スポーツ栄養学	教授	田口 素子	○	○

修士課程２年制・博士後期課程

コーチング科学 研究領域

COACHING RESEARCH AREA

多様なシーンのコーチングを学際的にとらえる

本研究領域では、現代社会に機能する「コーチング」をスポーツ・教育の分野から科学的に、また技能的に捉え、競技種目に対するコーチングの現象を専門的理解により深めることやスポーツ参加者への導入・展開の技術習得や環境づくりの関係を学際的な方法により究明します。一流選手をはじめとする競技者のパフォーマンス習得のプロセスや根拠を解明し、効率よくパフォーマンスを向上させる原理を構築します。実戦的研究・教育を通じて理論武装した競技者の輩出、およびそれを指導する能力を有する高度なスポーツ実践者、指導者、研究者の養成をめざします。

研究指導名	資格	担当教員名	修士	博士
走運動・コーチング科学	教授	礒 繁雄	○	ー
トップスポーツコーチング科学	教授	奥野 景介	○	ー
スポーツコーチング学	教授	土屋 純	○	○
コーチング心理学	教授	堀野 博幸	○	○
ボールゲーム戦術戦略論	教授	倉石 平	○	ー
トレーニング科学	教授	岡田 純一	○	○
チームスポーツコーチング論	准教授	松井 泰二	○	○
武道のコーチング学	教授	射手矢 岬	○	◎
冬季スポーツコーチング学	准教授	藤田 善也	○	ー

修士課程1年制

トップスポーツ マネジメントコース

日本のスポーツ界を切り拓く 実力を養う

スポーツビジネスや一般企業などでの実務経験を有する者に対して、クラブ・球団経営やスポーツメディアを中心としたプロスポーツビジネスの実践技能とマネジメント能力を開発することによって、トップスポーツ界で要請される人材を育成することを目的とします。トップスポーツビジネスに関する実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ、関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、その進展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成します。

担当教員名: 平田 竹男 教授
専門／専攻分野: 経営学、行政学／スポーツ産業学、スポーツビジネス論
科目例: トップスポーツビジネス特論／スポーツビジネスと国際政治

修士課程1年制

介護予防 マネジメントコース

介護予防現場での実践的解決力を 修得する

健康増進あるいは介護の実務経験を有する者に対して、介護予防活動の実践技能とそのマネジメント能力を開発することによって、社会的に要請される人材を育成することを目的とします。介護予防に関する広範な基礎知識を踏まえて、要介護認定者ならびに自立認定される虚弱高齢者に対して虚弱度の進行を抑制するための実践的な指導技法とその理論基盤を理解した上で、地域行政あるいは介護関連組織における介護予防のマネジメントを行う上での実務的・専門的能力を開発します。

担当教員名: 岡 浩一朗 教授
専門／専攻分野: 健康心理学・行動医学・老年学／介護予防・ヘルスプロモーション
科目例: ヘルスプロモーション演習／健康行動科学特論／介護予防特論

修士課程1年制

スポーツクラブ マネジメントコース

地域スポーツ振興や クラブづくりを担う人材を育む

地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ、スポーツ行政、スポーツ団体等での実務経験を有する者に対して、スポーツサービスを中心としたコミュニティ・スポーツビジネスの実践技能とマネジメント能力を開発することによって、地域でのスポーツクラブビジネスや公共スポーツ施設経営などで要請される人材を育成することを目的とします。コミュニティ・スポーツビジネスに関する実践力と理論的研究能力の育成を図りつつ、コミュニティ・スポーツビジネスに関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、その進展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成します。

担当教員名: 間野 義之 教授
専門／専攻分野: スポーツ政策論／スポーツビジネス
科目例: スポーツクラブマネジメント研究法／スポーツ政策特論

修士課程1年制

健康スポーツ マネジメントコース

健康増進の 新機軸開発に取り組む

健康増進の実務経験を有する者に対して、運動やスポーツを中心とした健康増進活動の実践技能とそのマネジメント能力を開発することによって、社会的に要請される人材を育成することを目的とします。健康増進に関する広範な基礎知識を踏まえて、スポーツや身体運動・トレーニングを通じた実践的な指導技法とその理論基盤を理解した上で、地域行政あるいは健康関連組織における健康増進のマネジメントを行う上での実務的・専門的能力を開発します。

担当教員名: 中村 好男 教授
専門／専攻分野: 体力科学・スポーツ産業学／健康スポーツ論
科目例: 健康スポーツマネジメント研究法／健康指導コミュニケーション

修士課程1年制

スポーツ ジャーナリズムコース

ジャーナリズムを通じたスポーツの 健全な発展に資する人材を育成する

現場のジャーナリストや、スポーツジャーナリストを志す有為な諸兄に対して、スポーツ科学やスポーツビジネスの最新動向ならびにマネジメント技法を教授し、スポーツに関する知識や洞察法を開発することによって、スポーツの健全な発展と社会的要請に応えることのできる人材を育成します。ジャーナリズムに関する実践力と探求能力の育成を図りつつ、スポーツあるいはスポーツビジネスに関わる諸問題を高度な教育・研究を通して解明し、スポーツ界の健全な発展に寄与し得る実務的・専門的能力を養成します。

担当教員名: 藤原 庸介 客員准教授(主担当)／平田 竹男 教授／中村 好男 教授
科目例: スポーツジャーナリズム特論、ライティングスキル演習

修士課程1年制

エリート コーチングコース

トップレベルのスポーツ指導者の キャリアアップを促進する

オリンピックや世界選手権への出場といった高い競技力を獲得する過程で経験知や暗黙知、科学的視点を豊富にもつ優れたスポーツ選手および指導者に対して、彼らが競技経験および指導経験から蓄積してきた知識や視点を個人内に留めおくのではなく、それらを研究論文といういわゆる「形式知」にまとめ、その情報を発信できる能力を養成し、さらに優れたスポーツ指導者へと育成します。

担当教員名: 土屋 純 教授(主担当)／礒 繁雄 教授／奥野 景介 教授／
堀野 博幸 教授／倉石 平 教授／岡田 純一 教授／
松井 泰二 准教授／射手矢 岬 教授／藤田 善也 准教授
科目例: コーチングマネジメント論・実習A・B・C・D

履修方法

修士課程2年制

01. 修士課程2年制を修了するには、通常2年以上4年以内在学し所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「修士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。
02. 30単位は、次のように履修します。

必修／選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必修	研究指導	指導教員による研究の指導	2年分合格
	修士論文		合格
	演習科目	所属する研究指導の演習(1)A・B、(2)A・B	8単位
		スポーツ科学演習	2単位
選択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1)(2)※8単位以内	20単位(以上)
	講義科目、実習科目	領域・コースにとらわれず自由に選択 (ただし、1年制コース「基礎選択科目」を含まない)	
修了単位数			30単位(以上)

博士後期課程

01. 博士後期課程を修了するには、通常3年以上6年以内在学し、論文作成のために必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「博士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。
02. 授業科目について必要な単位はありませんが、指導教員の指示により、修士課程の授業科目を履修しなければならない場合があります。

修士課程1年制

01. 修士課程1年制を修了するには、通常1年以上2年以内在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および試験に合格しなければなりません。合格者には「修士(スポーツ科学)」の学位が授与されます。
02. 30単位は、次のように履修します。

トップスポーツマネジメントコース／スポーツクラブマネジメントコース／健康スポーツマネジメントコース／介護予防マネジメントコース／スポーツジャーナリズムコース

必修／選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必 修	研究指導	各コースの研究指導	合格
	修士論文		合格
	演習科目	所属する研究指導の演習(1)A・B	4単位
	マネジメント科目		6単位(以上)
選 択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1)※8単位以内	30単位より必修科目で修得した単位を除した単位数
	マネジメント科目、基礎選択科目、講義科目等	領域・コースにとらわれず自由に選択(2年制設置科目を含む)	
修了単位数			30単位(以上)

エリートコーチングコース

必修／選択	科目区分	科目の説明	修了要件
必 修	研究指導	エリートコーチング研究指導	合格
	修士論文		合格
	演習科目	エリートコーチング演習(1)A・B	6単位
		エリートコーチング総合演習	
	マネジメント科目	コーチングマネジメント論・実習A～D	8単位
選択必修	講義科目		8単位(以上)
選 択	演習科目	所属する研究指導以外の演習(1)	30単位より必修科目で修得した単位を除した単位数
	マネジメント科目 基礎選択科目 講義科目等	領域・コースにとらわれず自由に選択 (2年制設置科目を含む)	
修了単位数			30単位(以上)

エリートコーチングコースを除く修士課程1年制は社会人向けの講座です。
トップスポーツマネジメントコース／スポーツクラブマネジメントコース／健康スポーツマネジメントコース／介護予防マネジメントコース／スポーツジャーナリズムコースについてはほとんどの授業科目が**「早稲田キャンパス」**で開講されます。さらに、その時間帯も平日の夜間(18時以降)および土曜日(終日)が中心です。
エリートコーチングコースについては主に**「所沢キャンパス」**で昼間に開講されます。

入学には一定の要件を満たしていることが必要です。
スポーツ科学研究科修士課程1年制の入学試験においては、それぞれのコースで求められる要件を前提とし、出願書類の審査を経て、面接試験の成績を加味して、総合的に判定します。詳細は「入学試験要項」をご確認ください。